

臨岐圏域(島前)水害・土砂災害に関する減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

【資料2-2】

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関	取組機関					備考
				海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県	
■ 水害・土砂災害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現									
1 土砂災害特別警戒区域の調査・周知及び指定	圏域	調査・周知 令和2年9月末まで 指定 令和2年度末まで	目標 取組内容						・土砂災害特別警戒区域を調査・周知及び指定し、調査結果を各町村へ提供。
			R2 取組内容	・調査結果の縦覧 ・ケーブルテレビの放映 ・知事の意見照会に対する回答	・調査結果の縦覧 ・ケーブルテレビの放映 ・知事の意見照会に対する回答	・調査結果の縦覧 ・地元説明会を実施 ・知事の意見照会に対する回答		・地元説明会を実施。 ・年度末までに区域指定完了。	
			R3 取組内容	・調査結果の縦覧 ・ケーブルテレビの放映	—	—		マップオンしまねにおいて指定箇所を周知	
			R4 取組内容	・調査結果の縦覧 ・ケーブルテレビの放映	—	—		マップオンしまねにおいて指定箇所を周知	
2 土砂災害ハザードマップの改良・周知	圏域	令和3年度末まで	目標 取組内容	・土砂災害(特別)警戒区域の公表の後に、土砂災害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布。	・土砂災害(特別)警戒区域の公表の後に、土砂災害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布。	・土砂災害(特別)警戒区域の公表の後に、土砂災害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布。			
			R2 取組内容	・土砂災害特別警戒区域が指定にともない、避難経路や避難所の再確認	・ハザードマップの更新完了	・土砂災害特別警戒区域指定の後に、土砂災害ハザードマップを見直す			
			R3 取組内容	—	・紙媒体、ホームページにより住民へ周知する。	・ハザードマップの更新			
			R4 取組内容	・ハザードマップの更新	・紙媒体、ホームページにより住民へ周知する。	・紙媒体、ホームページにより住民へ周知する。			
3 避難勧告指示等の発令に着目した土砂災害情報伝達体制の確立(土砂災害対応タイムラインの作成)	圏域	タイムライン作成 令和5年6月出水期まで	目標 取組内容	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事案、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事案、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事案、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・土砂災害対応タイムラインの確認・調整、土砂災害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事案、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	
		定着	R2 取組内容	・第1回書面担当者会議、書面協議会(6月)において素案を示し、協議会の了承を得る ・実事案において試運用することとしていたが、実事案がなかったため試運用及び検証することができなかった。					
		継続実施	R3 取組内容	R3は土砂災害タイムライン作成は、継続中で未完了。					
			R4 取組内容	土砂災害タイムラインについて、各町村ごとの行動を整理、作成の上R5の協議会で暫定運用の承認を得る。					
4 浸水害、土砂災害の危険度について島根県、気象台からの情報提供(ホットラインの定着)	圏域	令和元年度から継続実施	目標 取組内容	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る					
			R2 取組内容	・情報伝達訓練、実事案でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事案でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事案でホットラインを実施、検証	・土砂災害に係る情報伝達訓練 R2. 6. 3実施 ホットライン演習はなし	・洪水対応演習 R2. 5. 12実施 県土整備局長と町長のホットライン演習なし？ ・土砂災害に係る情報伝達訓練 R2. 6. 3実施 ホットライン演習はなし	
			R3 取組内容	・情報伝達訓練、実事案でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事案でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事案でホットラインを実施、検証	・土砂災害に係る情報伝達訓練 R3. 6. 1実施 ホットライン演習はなし	・土砂災害に係る情報伝達訓練 R3. 6. 1実施 ホットライン演習はなし	
			R4 取組内容	・情報伝達訓練、実事案でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事案でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事案でホットラインを実施、検証	・土砂災害に係る情報伝達訓練 R4. 6. 9実施 ホットライン演習はなし	・土砂災害に係る情報伝達訓練 R4. 6. 9実施 ホットライン演習はなし	

	主な取組項目	対象	目標時期		取組機関				備考	
					海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台		島根県
6	避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	圏域	改善された防災気象情報の提供 平成29年度から継続実施	目標 取組内容				<ul style="list-style-type: none"> ・防災気象情報の改善 <ul style="list-style-type: none"> ○危険度を色分けした時系列 ○警報級の可能性の提供 ○危険度分布(メッシュ情報)の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・次期水防情報システムの開発(河川) <ul style="list-style-type: none"> ○操作法を改善し迅速な情報提供 ○観測データの異常値チェック機能 ○スマートフォンに対応した情報提供 ○訓練シナリオの充実 ・雨量計、水位計等の更新(河川) 	
				R2 取組内容				<ul style="list-style-type: none"> ・次期土砂災害予警報システムの開発(砂防) <ul style="list-style-type: none"> ○障害に強いシステムの構築 ○高精度化(5kmメッシュ→1kmメッシュ) ○迅速化(判定間隔30分→10分) ○複数情報表示、多言語対応、スマートフォン対応 ・雨量局の更新(砂防) 		
							<ul style="list-style-type: none"> ・洪水危険度分布において、本川の増水に起因する内水氾濫の危険度も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかきつけて危険度を表示する改善を行い、令和2年5月28日から運用開始。 ・大雨特別警報から大雨警報へ切り替え後、河川水位上昇や氾濫への警戒を呼び掛ける府県気象情報(洪水予報(臨時))を、河川管理者と共同して令和2年7月4日から発表開始。 ・新たな発表指標(土砂災害における短時間指標)を用いた、大雨特別警報の全面的な運用を令和2年7月30日から開始。 ・大雨警報(浸水害)、洪水警報等の基準について、新たな災害事例を追加した評価・検証による見直しを行い、令和2年8月8日から運用開始。 ・大雨特別警報の発表基準を、警戒レベルとの関連が分かりやすいよう、雨を要因とする基準に一元化し、令和2年8月24日から運用開始。 ・5日までの高潮の警報級の可能性について、わかりやすいバーチャートを用いた図形式的気象情報等により、令和2年8月26日から提供開始。 ・24時間以内に台風に発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、タイムライン支援のため、これまでの「1日先まで」から「5日先まで」に延長し、令和2年9月8日から運用開始。 ・気象庁ホームページの台風情報を、14か国語で9月16日から提供開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水防情報システムの運用・周知 ・水位計等の更新完了 ・次期土砂災害予警報システム運用開始 		
				R3 取組内容				<ul style="list-style-type: none"> ・(令和3年6月8日より) ・記録的短時間大雨情報の改善(令和3年6月8日より)。 ・「キキクル(危険度分布)」通知サービスの細分化(令和3年6月8日より)。 ・警戒レベルと対応した高潮警報等に改善(令和3年6月8日より)。 ・線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起(令和3年6月17日より)。 ・指定河川洪水予報の改善(令和3年6月1日より)。 ・防災気象情報と警戒レベルとの対応(令和3年出水期より)。 ・防災情報提供システムでキキクル(危険度分布)のメール通知を開始(令和3年6月3日より)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水防情報システムの運用・周知 ・新土砂災害予警報システム運用・周知 ・雨量局等の更新(土砂災害予警報システム) 	
R4 取組内容				<ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報(浸水害・土砂災害)・注意報、洪水警報・注意報の新基準運用開始(5月28日より) ・国管理河川における指定河川洪水予報(氾濫危険情報)の運用改善(6月1日より) ・キキクル「すす業」と「濃い紫」の統合、「風」(特別警報)の新設(6月30日 予定) ・大雨特別警報(浸水害)の指標改善(出水期予定) ・高潮の早期注意情報の運用開始(8月予定) ・季節予報解説資料のHP提供形式の変更(4月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水防情報システムの運用・周知 ・新土砂災害予警報システム運用・周知 ・雨量局等の更新(土砂災害予警報システム) 					

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県	
6	出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	圏域	毎年継続実施	目標 取組内容	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。	・出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 ・広報紙を活用した防災情報発信
				R2 取組内容	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・県主催の水防・土砂災害研修会に講師を派遣し、防災気象情報について解説を行った。【R2.6.30】	・水防・土砂災害研修会【R2.6.30】 ・新聞広報(考える県政)【R2.6.20】 ・防災士要請研修等の実施 ・美田ダムの機能説明(西ノ島町ケーブルテレビ)
				R3 取組内容	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・県主催の水防・土砂災害研修会に講師を派遣し、防災気象情報について解説を行った。【R3.6.14】 ・報道機関との懇談会を開催(令和3年6月9日、10月14日) 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知を図るため、報道機関との連携強化を目的に開催。河川事務所と共同でWeb開催し、広域多数の機関と効率的な意見交換を実施。 ・一般向けの出前講座は、コロナ禍を受け依頼がなく、未実施。	・水防・土砂災害研修【R3.6.14】 ・新聞広報、出前講座等
				R4 取組内容	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・県主催の水防・土砂災害研修会に講師を派遣し、防災気象情報について解説を行った。【R4.5.31】 ・報道機関との懇談会を開催【R4.5.31】(今後も追加開催予定) ・依頼に基づき出前講座等を実施予定	・水防・土砂災害研修【R4.5.31】 ・新聞広報、出前講座等

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考	
			海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県		
■ 要配慮者利用施設における確実な避難									
7 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成支援(土砂災害)	圏域	令和元年度から継続実施	目標 取組内容	・平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 ・随時面談・電話による作成相談を実施 ・提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施	・平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 ・随時面談・電話による作成相談を実施 ・提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施	・平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 ・随時面談・電話による作成相談を実施 ・提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有 ・(例)モデル施設で避難確保計画の作成	
			R2 取組内容	<R2.5末時点> 対象施設 土砂災害:2施設 作成済施設 土砂災害:0施設	<R3.5末時点> 対象施設 土砂災害:4施設 作成済施設 土砂災害:3施設	<R3.5末時点> 対象施設 土砂災害:1施設 作成済施設 土砂災害:0施設	・説明会及び避難確保計画作成に係る助言の依頼がなく、未実施。	・必要に応じて計画作成の支援	
			R3 取組内容	・作成支援	・作成支援	・作成支援	・説明会及び避難確保計画作成に係る助言の依頼がなく、未実施。	・必要に応じて計画作成の支援	
			R4 取組内容	・作成支援	・作成支援	・作成支援	・依頼に基づき助言を行う	・必要に応じて計画作成の支援	
■ 被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る									
8 堆積土砂の撤去等による河川氾濫・浸水害を未然に防ぐ対策	圏域	毎年継続実施	目標 取組内容	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施		・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について関係町村と調整し優先箇所を定めて順次実施	
			R2 取組内容	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う		・大川堆積土砂撤去(西ノ島町) ・諏訪川堆積土砂撤去(海士町)	
			R3 取組内容	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う		・諏訪川堆積土砂撤去(海士町)	
			R4 取組内容	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う		—	
9 土砂・立木対策の推進	圏域	毎年継続実施	目標 取組内容					・土砂や流水の流出による被害の危険性が高い溪流において土砂・流木の捕捉効果の高い施設整備を推進	
			R2 取組内容					・西尾の代川で土砂・流木対策の継続実施(西ノ島町) ・知当川で用地買収本堤工に着手(西ノ島町)	
			R3 取組内容					・西尾の代川で土砂・流木対策の整備概成(西ノ島町) ・知当川で土砂・流木対策の本堤工施工(西ノ島町) ・中別府川で用地買収(西ノ島町) ・藤山川で工事着手(海士町) ・河井川で用地買収(知夫村)	
			R4 取組内容					・西尾の代川で土砂・流木対策の整備概成(西ノ島町) ・知当川で土砂・流木対策の本堤工施工(西ノ島町) ・中別府川で用地買収(西ノ島町) ・藤山川で工事着手(海士町) ・河井川で用地買収(知夫村)	